

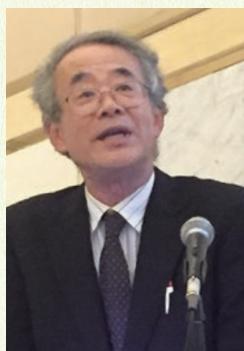
## 第17回

# 会員向け研修会 開催報告

### 講演の部 要旨

## 甲骨文字の「解説」を考える

茨城大学人文学部教授 鈴木 敦先生



一般に甲骨文字とは、中国の殷の時代の占いに用いた亀甲や牛骨の上に刻まれた文字を指し、これは現存する最古の漢字資料です。ただし、亀甲や獸骨を使った占い自体は他の時代、地域でも広く見られます。また甲骨に文字を刻んだ遺物も、陝西省周原遺跡出土のいわゆる周原甲骨を代表に、発見例が増えてきています。甲骨に文字を刻むという習慣は、もはや殷の専売特許ではありません。しかし、出土量の多さと研究実績の蓄積においては、なお殷の甲骨が圧倒的です。本日は専ら殷の甲骨についてお話し致します。

未知の文字を解説する際、表意文字の方が表音文字より遙かに解説困難です。たとえば表音文字（形と音のみを持つ文字）であるローマ字は26文字しかありませんが、表意文字である漢字は約5万字もあり、各々が形、音に加えて義（意味）を持つため、解説作業は膨大かつ困難なものになります。

未知の文字の解説に関して、他の古代文明と比較してみましよう。エジプト文明のヒエラグラフは4世紀頃使い手が消滅し、「未解説だが文字の存在 자체は知られている状態」が長く続きました。ギリシャ語との対訳本というべきゼッタストーンの発見により、漸く1822年に解読されました。一方、甲骨文字は1899年に発見されるまでその存在 자체が忘れ去られており、1903年に『鐵雲藏龜』（拓本集）が出版されると、その翌年には早く

9月18日（日）に東京都のアルカディア市ヶ谷において、第17回「会員向け研修会」を開催しました。茨城大学教授の鈴木敦先生による講演会に、約150名の方がご参加くださいました。

急速に解説が進んだ理由として、甲骨文字から現代の漢字まで文字体系が連続していたことが挙げられます。加えて、清朝考証学の一環としての「古代の漢字の研究」の成果が、十分に蓄積されたタイミングで発見されたという幸運にも恵まれました。解説者たちは、自分たちが通常用いている漢字から順に遡って、殷代の一つ手前の西周時代の文字までは沢山の知識を持っていました。そこにもう一時代古い、しかし西周時代の文字の直接のご先祖としての甲骨文字が発見された。他の失われた古代文字の解説とは比べものにならない好条件が揃っていたのです。

解説の方法には、文字の形に基づき単純置換するD.T. (Direct Transcription) や、文字の意味(使われ方)に基づき、当時の意味に相当する現代の文字に置換するM.C.T. (Modern Character Transcription)

の二種類があります。

おそらく皆様の多くが、甲骨文字はとても難しく、自分で解説など縁の無いものと感じておられるのではないか。しかし、漢字部首と甲骨文字の、一つの対照表を見ながら、両者をD.T.で単純に置き換えることは容易です。甲骨文と漢文、現代中国語は文法的にも連続性が高いので、漢文や現代中国語の心得のある方なら意味をとることもある程度可能でしょう。D.T.を使って「解説」してみれば、甲骨文字をずっと身近に感じていただけると思います。

しかし、正確な解説はD.T.とM.C.T.を総動員して行います。形が同じだからといって単純にD.T.で現代の漢字に置換しても、その文字の現代の意味と、殷の人々が使っていた時の意味とが同じである保証はどこにもないからです。

正確な解説のためには、一つ一つの文字についてそれがどういう文脈で使われているかを整理し、その文字の「殷の人々が使っていた時の意味」を帰納的に明らかにして、膨大な作業を緻密に積み重ねていく必要があります。

## 第17回 会員向け研修会 開催報告

### 会員発表の部 要旨

# 金文をめぐる冒険——生涯学習の取り組みから——

東京都 吉田 敏治さん

9年前に漢検と出会い、1級受検に至りました。勉強中は漢和辞典と親しまましたが、辞典の「解字」欄に載っている説明が物足りなかつたため、受検明けに白川静氏の『字統』を使って勉強しようと思い立ちました。さらに『字統』に掲げられた古代文字が使われた社会にも興味を持ち、金文を今日まで伝える青銅器の展示をよく見に出かけます。

#### ■青銅器の銘文から古代社会を考える

代表的な青銅器である「大盂鼎」を見てみましょう。約3千年前、西周時代の序盤に制作されました。その銘文は、「隹九月、王、宗周に在り」と格調高く始まります。部首の「隹」を「これ」と読むことからして不思議ですが、その後の字の分化を追いながら考えると、「これ」と読まれるようになつた字の中に「隹」が生きています。

次に「王、若のごとく曰く」とあります。『字統』の「若」の字の項を読むと、「若」は象形であり、巫女すなわち「みこ」が我を忘れて舞つてゐるそうです。こうした状態の「みこ」を通じて神意が伝えられ、それをそのまま述べることが「若のごとく曰く」です。それがやがて王の言葉を伝える形式にもなつたわけですね。金文に頻出の表現ですが、こう書いてあれば王が儀式に臨席せず、役人が王の言葉を代読したことがわかります。

銘文中に「殷から周に天命が移行した理由は、殷の支配層は酒乱癖があつたが周はそうではないからだ」という話も出てきます。周は殷を武力で倒して成立した王朝ですから、殷のように王が神の子孫だとも言えず、合理的な努力により天から命を受けたと主張しました。この銘文も方向は同じですが、社会にまだ殷の勢力が残つてゐる中で殷を全面非難するリスクを避けて、やや苦しい説明をしていますね。

#### ■ネットワークの仲間で情報交換しよう

私は現在、漢字教育研究会、池袋漢字勉強会、字統研究会、白川静会などに所属しており、また歴史ノンフィクションの月刊誌連載もしています。漢字の読み書きが多少できるといろいろな場で大事にしていただけて、金文に限らず、個人学習だけのときよりも探求活動を進めやすいです。皆さん、漢検上位級に合格した仲間としてこのネットワークで情報交換しながら、それぞれの目標に向かって楽しく生涯学習しましょう。



## 隹 → 惟、維

### 講座条件の例(A班)

- 15名の小学1年生対象
- 10月から漢字講座を行いたい
- 90分の授業

### 半年の継続講座

各班、注意点やポイントはどこか、どのような授業構成がより効果的かについて、熱く語り合つていきました。

実際のサポートへの講師依頼では、開講前に受講者の情報が十分に得られない場合も少なくありません。今回のワークでは、講座開講に向けて事前に考慮すべき点(対象年齢に応じた時間配分や、使用教材などを共有するきっかけとなつたようで、参加者からも有意義だつたというお声をいただきました)。

## 漢字教育サポーター 研修会を開催しました

会員向け研修会当日の午前中に、漢字教育サポーターの第1期生から第5期生を対象としたグループワーク形式の研修を行いました。

ワークの内容は、4～5人の班それぞれに異なる講座の条件を提示し、自分たちならどのような講座内容にするかを考え発表する、というものでした。講座の条件は、実際に協会に届いたサポーター紹介依頼の条件をもとにしました。

聴  
講  
者  
募  
集

第18回 漢検生涯学習ネットワーク会員向け研修会

- 日 時 ● 平成28年12月18日(日)  
13時30分～16時30分(13時00分 受付開始)
- 場 所 ● 愛知県産業労働センターウインクあいち  
(愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38)
- ア ク セ ス ● (JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より  
・JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面徒歩5分  
・ユニモール地下街5番出口 徒歩2分
- 参 加 費 ● 無料
- プロ グ ラ ム ● 講演 吉池 孝一氏  
(愛知県立大学 外国語学部／大学院国際文化研究科 教授)  
テーマ『日本漢字音の源流 一とくに漢音について』
- プロフィール
- 文字と音韻について調べています。柱は3つ。(1)漢字周辺文字、(2)シルクロードの文字、(3)東アジアの未解読文字。異なる民族が接触したときに何が生まれたか。それを文字と音韻を通してみてみよう、ということです。なお、「古代文字資料館」(県大E棟510室。楔形文字からマヤ文字まで世界の文字資料の実物約200点を所蔵)の展示も担当しています。
- 講演概要
- 日本の漢字音には幾つかの層があります。今回は“漢音”をとりあげ、その源流となる唐代長安の発音とくらべます。さて、馬の吳音はメ、漢音はバです。唐代長安の人が馬をマのつもりで発音し、それを日本の留学僧たちが、外国人の耳でバと聞き取り、日本に伝えたのが漢音のバですが、マをバと聞き取るには、それなりの発音上の理由がありました。それとは逆に、長安の人が日本に来て、日本語を聞き、漢字を当てるとどうなるでしょう。その例を、私たちは日本書紀の漢字表記にみることができます。国際都市長安の発音はそうとうに影響力があったとみて、周辺の諸民族のなかに根をおろしています。そのあたりの事情も覗いてみます。
- 会員発表 1名(発表は1人30分以内)  
※会員発表後に、簡単な交流会を予定しています。
- 聴講者定員 ● 100名
- 参加申込方法 ● 以下のいずれかの方法でお申し込みください。  
WEB…パソコン・スマホからアクセス可能  
URL : [https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770avy\\_28/index.do](https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770avy_28/index.do)  
にアクセスして、必要事項をご入力ください。  
FAX・郵送…同封の「第18回会員向け研修会 申込用紙」(挨拶文裏面)に必要事項を記入の上お送りください。  
※応募多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。  
※参加の可否については12月初旬までに郵便もしくはEメールにてお知らせします。
- 申込締切日 ● 平成28年12月2日(金)(協会必着)



研修会にてご自身の研究発表をされる会員を募集します!

ご自身の日ごろの漢字学習・研究の成果を発表しませんか?(発表時間は30分以内です。)  
発表希望者は、同封の「第18回会員向け研修会 申込用紙」の発表希望者の項目にチェックし、発表したい内容の要旨(A4用紙1枚以内)を添付してFAXもしくは郵送でお送りください。WEBによるお申し込みの場合は、要旨をEメールで(lifelong@kanken.or.jp)へ添付ファイルでお送りください。希望者多数の場合は選抜させていただき、その結果は12月初旬までにお知らせします。

# 漢字同好会からのお知らせ

全国の漢字同好会の情報は、漢検ホームページからもご覧になれます。  
<http://www.kanken.or.jp/project/edification/associations.html>

申込方法	● 聴講料	● 500円(当日徵収)	● 札幌市中央区北2条西7丁目	時 時
● 事前の申し込みは不要です。	● 「大漢和辞典編纂ものがたり ～漢和辞典ができるまで～」	● 平成28年12月3日(土) ※開場は15時30分です。 かかる2・7〈710号室〉	● 平成28年12月3日(土) ※開場は15時30分です。 かかる2・7〈710号室〉	16時～18時
直接会場へお越しください。	● 円満宇二郎氏	● 円満宇二郎氏	● 円満宇二郎氏	● 円満宇二郎氏
内 場 日	講 師	容	所	時
聴 講	●	●	●	●
申込方 法	●	●	●	●

北海道漢字同好会

新渴漢字同好會

石川漢字友の会

申込方法	● 会員の方は、返信用ハガキにてお申し込み下さい。	● 事務局へ電話にてご連絡ください。	時 日 時 ● 平成28年11月27日(日) 10時～12時
会員登録料	● 無料	● 1漢字もうまく使えばお金になる(?)	● 「漢字と経済」
会員登録料	● 70名	● 早稲田大学教授 笹原宏之先生	● 「新潟市中央区花園1・2・2」
会員登録料	● 費用	● 師範	● 「コーパシティ花園「ガレッジ」」
会員登録料	● 員員	● 参加	● テーマ
会員登録料	● 定期	● 講演	場日時

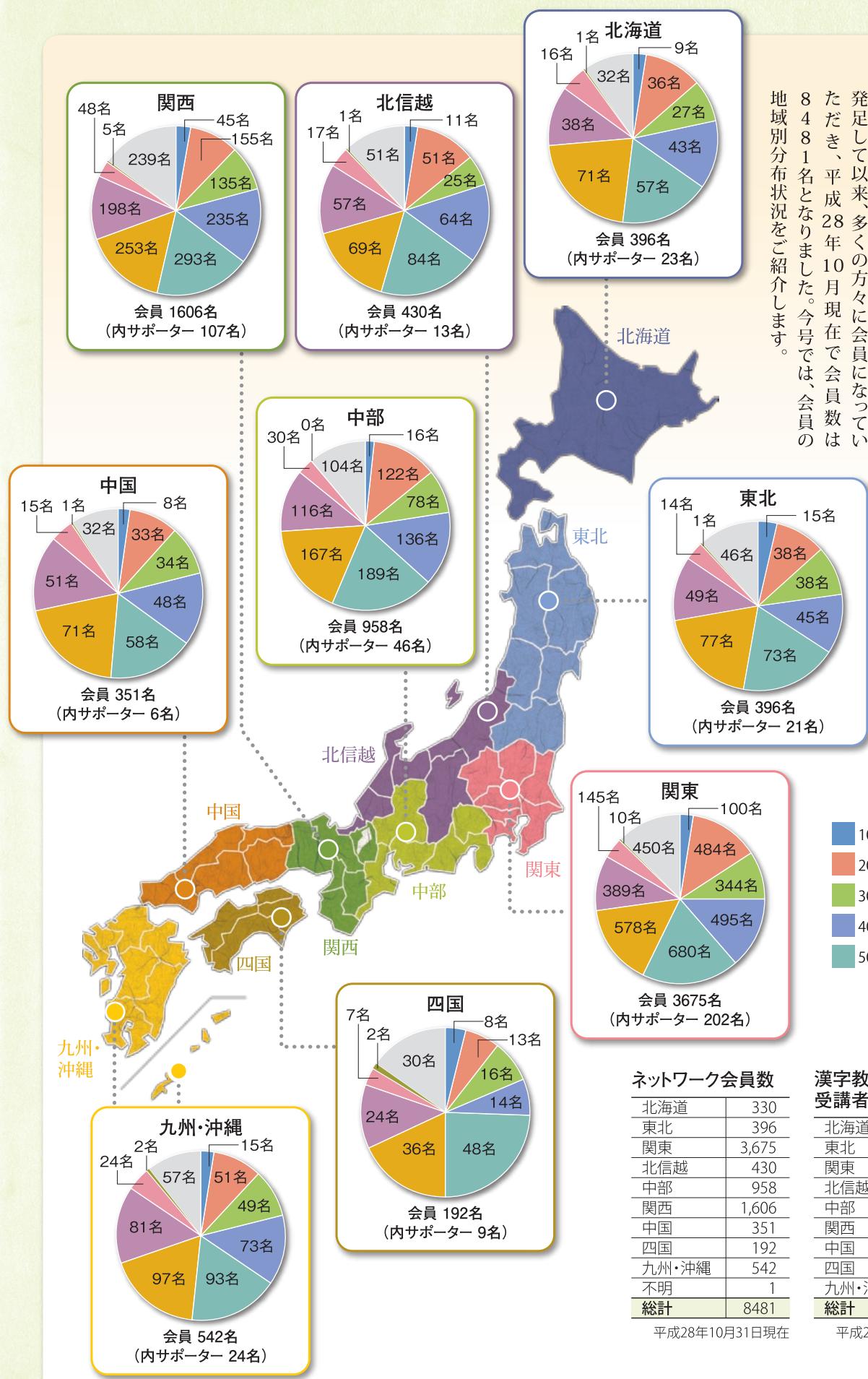
<p>お問い合わせ ● 福島県漢字同好会 024-923-1078</p> <p>● 福島県漢字同好会 事務局 太田 090-8640-8761</p>	<h1>福島県漢字同好会</h1> <h2>円満字二郎先生講演会</h2> <p><b>12月・月例会</b></p> <table border="0"> <tr> <td>日 時</td> <td>平成28年11月13日(日)14時～16時</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>郡山市中央公民館 第3／第4講義室</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>四字熟語の力～文豪たちのことばの技を読むく 講師 円満字二郎氏</td> </tr> <tr> <td>申込方法</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>参 加 費</td> <td>● 不要(当日来場)</td> </tr> </table>	日 時	平成28年11月13日(日)14時～16時	場 所	郡山市中央公民館 第3／第4講義室	内 容	四字熟語の力～文豪たちのことばの技を読むく 講師 円満字二郎氏	申込方法	無料	参 加 費	● 不要(当日来場)
日 時	平成28年11月13日(日)14時～16時										
場 所	郡山市中央公民館 第3／第4講義室										
内 容	四字熟語の力～文豪たちのことばの技を読むく 講師 円満字二郎氏										
申込方法	無料										
参 加 費	● 不要(当日来場)										

時	● 平成28年11月27日(日)13時30分
場	● 北國新聞会館10F 108教室(金沢市南町2-1)
申込締切日	● 9月16・18日 催行の「京都研修旅行」の報告
担当	● 「全日本漢詩大会」及び「漢字ミーリジアム発観」について
当	● 参加者(池田、北出、中西、西田、宮前)
日	● 平成28年11月20日(日)
12月例会	● 平成28年12月18日(日)13時30分
時	● 平成28年12月18日(日)13時30分
場	● 北國新聞会館10F 108教室(金沢市南町2-1)
12月2・4日催行の	● 平成28年11月20日(日)

ishikawa-kanji@po5.nsk.ne.jp

## ネットワーク会員の地域別分布状況

平成23年4月に生涯学習ネットワークが発足して以来、多くの方々に会員になっていただき、平成28年10月現在で会員数は8481名となりました。今号では、会員の地域別分布状況をご紹介します。



# 初めて一級に合格しました!

漢検の最高峰一級に初めて合格した会員の喜びの声をご紹介します。

私の還暦の誕生日、それは将に平成二十七年度第三回検定の合格認定日でした。足かけ3年、試験5回目にして漸く合格。50代と別れ60代を迎える還暦の誕生日は、何か急に年を取つた様で気が滅入りがちでしたが、その日に合格を頂けたことは、これまで歩んできた60年の労いと、これから何年か続くであろう私の人生の応援である様な気がしました。

思えばさほど漢字に興味がなかった私が、検定に足を踏み入れたのは10年ほど前。当時中学生だつた息子が高校へ入る為、アピールとして漢検2級を受けるというので私も付き合うことに。「一人とも合格、そして高校1年生でカナダへ1年間留学している息子に『母も頑張っています!』とアピールの為、準1級を受検。合格後、1級の問題集を買ったものの『こんな手が出ない…』あまりの難しさに数年放置。しかし脳活性化の為『そう、そう!』と押入れから取り出した1級問題集。問題集をほぼ仕上げた後に受検するも、6割はできても7割は無理。ましてや8割など到底。「持っている問題集だけではダメ」と四字熟語1000問から始め、漢字辞典も買い基本からもう一度。初対面の漢字だけが、日々見る毎に親しみを感じ頬馴染みについに合格を手にしました。これからは読み書きの問題的存在でしかなかった文章を、特に明治期以降の著書を楽しみながら読み理解していくと思っています。漢字力を得てより深い日本文化への切符を手にした思いです。

大阪府 辻田さん

還暦のお誕生日に、さらに記念が加わったのですね。おめでとうございます。これからも、楽しく暮らしていきたいです。

腱鞘炎による痛みにも負けず、日々の努力を続けられたこと、素晴らしいです。今後も継続して学習を続けていただけますと嬉しいです。

静岡県 島田さん

私が一級に合格したのは、二十七年度第三回検定です。漢字検定に挑戦し始めてから5年の月日が経っていました。二级から始めて準一级までは一発クリアだったこともあって、一级もしっかりと勉強すれば時間はかかると思いました。

しかし、一级の壁は私の予想を遥かに上回るものでした。まさに「壁は高いからこそ越える価値がある」です。

それでも3回ぐらいたから7割前後の得点が得られるようになりました。しかし、それからの道のりこそ、いつそう壁の高さを感じさせるものとなり、あと1割20点の上乗せがいかに大変か痛感した次第です。

その頃から、「参考書と問題集だけの検定対策だけでは『付け焼刃』でしかない」と感じて、本当に「一级にふさわしい力」を付けようと、辞典類のまるごとマスターのためのノートづくりと古典文学などの作品に親しむことに努めるようになりました。その甲斐あってか、一级挑戦11回目にして、やっと合格しました。得点 자체はまだまだ不満足ながらも。

しかしながら、今になって振り返ってみると、仮にもうとんど合格していたとしても、それに相応しい漢字能力が付いていたとは思えません。汗をかいて合格した現在こそ、自信を持つて漢字が語れる自分になつたと実感しています。そして、古今の古典を「理解」しながら読めるようになつたことも嬉しいかぎりです。

今後はもうすぐ67歳になる自分の脳トレと漢字能力のレベル維持のため、定期的に一级検定に挑戦し続けたいと考えています。

併せて、脳トレの相乗効果のために「英検」や「時事検定」にも挑戦中です。

広島県 見田さん

腱鞘炎による痛みにも負けず、日々の努力を続けられたこと、素晴らしいです。今後も継続して学習を続けていただけますと嬉しいです。

合格だけでなく真の実力を手に入れたいという飽くなき向上心、感服いたしました。身につけた力をさらに磨いていただければ、と思います。

平成二十七年十一月二十七日、漢検一級の合格証書が我が家に届いた時の感動は、半年経過した今でも鮮烈に蘇つてくる。準一級を二回目の挑戦でクリアーした私は、その一年後、一級にトライしたが、厚き壁に思いきり弾き返されてしまった。得点は百三十点、百点満点にすると六十五点、大学の試験なら「可」であるが、漢検一級は八十点以上の優をとらねば合格出来ない。私は長期戦覚悟で、漢検の漢字辞典と四字熟語辞典を全て覚える心意気で勉強を再スタートした。しかし、それは容易なことではなく、実戦感覚を忘れないために受検も一年に二回は続けたが、なかなか百五十点を超えることは出来なかつた。そこで考えたのが自分なりの辞書を作るということ。先に述べた二つの辞典と過去問や自分自身の間違いやすいことなどを織り込みながらマイ辞書作成に着手。これで諭しく勉強できる様になつたが、果して完成まで何年かかるかわからぬといふ不安もあった。それでもコツコツとマイ辞書づくりに取り組み、そのノートが三冊になった平成二十七年十月、八回目の受検で合格、妻や子からも喝采を浴びた。

しかし、マイ辞書作成は未だ道半ばであり、これからも続けていきたいと思つてゐる。そして、二年後か三年後、再度一級を受検し、二回目の合格証書を受け取りたいと、現在、心より願つてゐる。

奈良県 P.N. 上田秋霜さん

1級合格の為に始めたマイ辞書作成がいつしかライフルになつたのですね。いつか学習の証しを見せていただきたいものです。

平成二十七年度第三回検定で初めて合格しました。平成二十三年度第三回検定、平成二十八年度第二回検定と挑戦し、三回目での初合格でした。

高校生のときに、準一級に合格して、高

校三年生の時に一級を受検したところ、不合格という結果でした。大学に入学して四年生のとき、自分として誇ることが出来るものがほしいということ、学生会発行の漢字辞典をもとにして勉強をはじめました。辞典に示してある一級の漢字をレポート用紙に書いていきました。

レポート用紙を縦に折り、オリジナルの一問一答の問題集の作成をしつつ、声に出して覚えていきました。時には、不安もありましたが、そんなときは友人が支えとなり、励むことができました。

努力が実つたせいか、無事に合格することが出来、喜びよりも最初にきたのは驚きだったと感じています。ただ、家族や友人から祝福された時には合格した実感がありました。

今後も、言葉は聞いたことがあるが、実物を知らないことが多くあるため、漢字を通して、それらに触れていきたいと思います。

群馬県 関口さん

学生時代の締めとして始めた1級への挑戦、努力が実を結んだのですね。おめでとうございます。手にした漢字の力が関口さんのお力を広げてくれることを祈つております。

平成二十七年度第二回の検定で一級に初めて合格しました。

高校生の時に一度受検し、百四十五点で不合格でした。二度目の挑戦でした。

中学三年生の時に準一級に合格して以来、一級は高い壁でしたが、折角ならば一級取得を目指そうと決心しました。

主に行つた勉強法としては、漢検漢和辞典やインターネット上から熟語などをオリジナルノートに纏め、何度も見返しました。これに加えてインターネット上の模試を受けたりしました。

また、一級所持者のTwitterのアカウントをフォローして、受検前の励みになりました。

確りと準備して臨んだ受検の手応えは十分でした。それでもウェブでの合格発表サービスを確認する前は緊張しましたが、合格と分かると緊張が安堵に変わりました。「漸く合格だ！」

これからは漢検一級の勉強を契機として、様々な漢字の知識を取得していくたいです。

兵庫県 小山さん

インターネットやTwitterなど、情報化社会のツールを上手く活用されて挑まれた様子が伝わります。これから1級取得を目指される方にとって学習方法の参考になるのではないかでしょうか。

合格された皆様、本当におめでとうございます！

初合格を目指している方も、合格の瞬にはぜひ感動の声をお寄せください。投稿の方法はP.8をご覧ください。

# 会員通信への 投稿募集中！

会員通信を充実させるため、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。

## ●常時募集

掲載いたしかねる場合もございます

## 一級に初めて合格しました！

この一年で、最難関の一級に初めて合格した方の喜びの声と、合格のポイントを紹介します。以下の項目に沿って原稿をお書きください。

項目 ● ①いつ合格したか

②何回目の挑戦での合格だったか

③合格に向けて工夫したこと・勉強方法等・励みになったこと

④合格したときの気持ち・感想

⑤今後の目標

対象 ● 平成27年度第3回（2月）～平成28年度第2回（11月）の検定で初めて一級に合格された方  
字数 ● 項目①～⑤までで500字以内

漢字・日本語に関するお薦めの書籍紹介  
書名、著者名、出版社名、発行年を明記して、お薦めの理由を250字以内にまとめてお送りください。

## 「漢字同好会メンバー・仲間」募集板

「漢字同好会のメンバーを集めたいのだが、どうすればいいか分からぬ」「同じ県内で一緒に勉強できる仲間がいるかな?」といった悩みをお持ちの方はいらっしゃいませんか?研修会内の交流会に参加できない会員の方はいらっしゃいませんか?同好会メンバーや仲間の募集板を会員通信内に開設します。

募集内容や自己紹介などと一緒に、公開してもよい連絡先（ペンネーム可）を明記の上、お送りください。

例 ● 京都市内で漢字の勉強会をしませんか？一級合格に向けて勉強方法などを共有して高め合えればと思います。

漢検 花子 60才 京都市在住 Eメール : kanken-hanako@xxx.jp

※掲載しても差し支えないか投稿内容を必ずご確認の上、お送りください。

## 漢字に関するパズル・クイズ

子供からお年寄りまで楽しめる面白い漢字パズルを募集します。問題と解答を必ずセットにしてご投稿ください。（未発表作品に限ります。）

例 ● 漢字クロスワードパズル、子供向け漢字クイズ（学習漢字のみ使用）難読漢字パズル等

原稿とともに会員番号、氏名（ペンネームで掲載希望の場合はペンネームも添えること）、電話番号を明記し、郵便・FAX・Eメールでお送りください。  
※Eメールの場合は原稿書式を「Microsoft Word」もしくは「一太郎」とし、添付ファイルでお送りください。

### 締切日

2016年12月28日(水) (協会必着)

### 投稿先

郵送 〒605-0074

京都市東山区祇園町南側551番地  
公益財団法人 日本漢字能力検定協会  
漢検生涯学習ネットワーク担当

FAX 075-532-1110

Eメール lifelong@kanken.or.jp

すべての投稿を掲載できるわけではありません。原稿はこちらで一部割愛・校正させていただくことがあります。

## 日本漢字能力検定 平成28(2016)年度 個人受検 検定日程

	検定日	申込受付開始日	申込締切日(協会必着)
第3回	平成29年 2月 5日(日)	平成28年 11月 1日(火)	平成29年 1月 6日(金)

※ただし、書店での申込受付は平成28年12月28日(水)まで

書店での支払い後、願書の郵送は平成29年1月6日(金)協会必着

- 申込締切日(協会必着)を厳守してください。
- 申込締切日以後に願書が到着した場合や、検定料の支払期限が過ぎた場合は受け付けできません。



公益財団法人 日本漢字能力検定協会 本部 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地

※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。無断転載・コピー不可。

インターネットで漢検情報を!!

漢検

検索



0120-509-315

月～金9:00～17:00(祝日・お盆・年末年始を除く)

※検定日とその前日の土・日は窓口を開設

※検定日・申込締切日は9:00～18:00

